

| | |
|---------------|--|
| 企画名 | 緑のカーテンを作ろう！2018 |
| 実施団体 | 団体名 我孫子市消費者の会 問合せ先 加藤マリ子 TEL：04-7105-5292 Email：kato_mariko@hotmail.com ホームページ：http://www.abikoshi-syohisyanokai.net/wp/ |
| 目的 | <ul style="list-style-type: none"> ・緑のカーテンを作ることにより、夏を節電で快適に過ごせることを普及させる。 ・手賀沼の生い立ち及び特定外来植物の課題を知り手賀沼に一層関心を持ってもらう。 |
| 日時 | 2018年5月13日（日）10:00～11:50 我孫子南近隣センター ホール |
| プログラム・概要・ルート等 | ① 「手賀沼の生い立ちと現状の課題・外来植物」（中野一字氏）縄文時代の手賀沼の様子、手賀沼流域の範囲など、これまでの手賀沼についての基本説明の後、ナガエツルノゲイトウの実害と調査、オオバナミズキンバイの発見と緊急勉強会、ハス、ナガエの駆除、調査などについて豊富な写真での説明があった。 ② 「緑のカーテンを作ろう！」出席者は初心者から数年の経験者まで様々。基礎編はパワーポイントで説明し（加藤）、その後20分間、参加者同士の交流会をグループごとに行った（9班）。初心者に経験者が説明をするなど、かなりの部分の情報交換がされた。その後、さらにわからないことを達人（中村公陽氏）に質問し、より深めることができた。 <主な質問>プランター植えの留意点、台風対策、連作障害対策、肥料、上部も空きがないようにする工夫など。 ③ 緑のカーテンコンテストへのお誘い（深山） ④ ゴーヤの苗を2本ずつ配布 |
| 参加対象 | 一般 |
| 参加人数 | 一般参加 38名（大人38名） *当日キャンセルが20名もいた。 会員スタッフ12名（会員9名、講師2名、コンテスト案内1名） 計50名 |



手賀沼の課題・外来植物



中野一字氏



緑のカーテン・基礎編



なんでも相談・中村公陽氏



グループ毎での情報交換



2本の苗をプレゼント

育成された
ゴーヤ
の苗

| | |
|-------------|--|
| 参加者や実施団体の感想 | <ul style="list-style-type: none"> ・中野氏の話の間の取り方、説明の仕方がとてもよく、参加者一同集中して話を聞いていた。外来植物の繁茂・実害・駆除作業など豊富な映像でうまく伝わったようだ。 ・緑のカーテンづくりのグループでの情報交換は大変好評だった。聞きたいことが少人数なので聞きやすかったとのこと。肥料のボカシについて知らない人が多かった。 ・参加者のキャンセルが多かったのは、前日にゴーヤの無料配布が行われたからか。 |
|-------------|--|

| | |
|---|---|
| <p>企画名</p> | <p>手賀沼トラスト 20 周年記念 冬水田んぼで田植えをしよう</p> |
| <p>実施団体</p> | <p>団体名 NPO 法人手賀沼トラスト 問合せ先 富沢 崇 (事務局) TEL: 090-2234-5610 Email: info@teganuma-trust.jp ホームページ: http://teganuma-trust.jp</p> |
| <p>目的</p> | <p>生態系保全型の冬水田んぼで、田植え・かかし作り・稲刈りを体験してもらう連続企画の第1弾。地域住民の力で里山を保全します。</p> |
| <p>日時</p> | <p>2018年5月20日(日) 8:30~12:00</p> |
| <p>プログラム・概要・ルート等</p> | <p>冬でも水をはっておく冬水田んぼは、田んぼをめぐる生きものにやさしい田んぼです。そんな生態系保全型の田んぼで、子供たちを含む地元住民の参加を得て、田植えをしました。 子ども34名を含む66名の一般参加者は、古代米の一種の黒米を植えました。泥だらけになりながら苗を植えたあと、泥んこ大会として、泥んこフラフープ・泥んこレース・泥んこ相撲が開催されました。お父さん・お母さんの声援の中、めいっぱい泥んこになった子供たち。商品も貰って楽しそうでした。</p> |
| <p>参加対象</p> | <p>一般市民</p> |
| <p>参加人数</p> | <p>一般参加 96名 (会員30名、外部参加者: 大人32名、子ども34名) スタッフ 40名</p> |
| <div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%;">  <p>並んで、並んで。さあ、1, 2, 3!</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>こんな泥んこ何でもない!</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>さあ、優勝を賭けた大一番。</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>やっぱり、泥んこが楽しい。また来年も。</p> </div> </div> | |
| <p>参加者や実施団体の感想</p> | <p>泥んこ相撲が楽しかった。またやりたい。(小学3年生) フラフープが面白かった。(小学4年生) 今年は創立20周年ということで、子ども泥んこ大会をはじめて開催したが、大盛況でした。来年は大人の部も? (主催者)</p> |

| | |
|---|--|
| 企画名 | 手賀沼親子自然観察会 – 手賀沼用水路で魚とり！（我孫子） |
| 実施団体 | 団体名 手賀沼水生生物研究会 問合せ先 松本勝英 TEL&FAX：04-7187-1704 ホームページ： http://suiken.teganuma.org/ |
| 目的 | 手賀沼の水辺の生きものについて、子どもたちや親に知ってもらう。 |
| 日時 | 2018年6月24日（日）10：00～12：00 手賀沼 沼南側ヒドリ橋たもと |
| プログラム・概要・ルート等 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 鈴木代表から本日の予定、講師の鈴木規慈さん(魚類研究者)からモンドリやガサガサの説明。 ・ モンドリを仕掛ける ⇒タモ網で魚採り ⇒モンドリを引き上げ ⇒魚の分類。 ・ 講師の鈴木さんによる解説。採れた魚やエビについて、魚の見分け方、外来種(外国産、国内移入種)はどれか、どこから来たのか、どうやって手賀沼に来たのかなど。 ・ 新たに確認された外来エビについての解説はスタッフ(専門家)の森見さんより解説。 ・ 講師の木村稔さんからこの時期に見られる鳥類の説明。オオヨシキリ、ツバメなど。 |
| 参加対象 | 小学生以下は親子参加 |
| 参加人数 | 一般参加 61名（大人 28名、子ども 33名） 会員スタッフ 20名（会員 18名、講師 2名） 合計 81名 |
|  | |
| 参加者や実施団体の感想 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 今年は受付開始 30 分で定員いっぱいになり、受け付けた数の倍ほどの申込を断った。 ・ 前日雨で当日は朝から晴れるはずが回復が遅れ、開始時は小雨模様だった。実施するかの間合せが相次いだが、実施予定と答えたところ、ほとんどの家族が参加した。 ・ 今年は例年に増して熱心な家族が多かった印象。特に、講師の説明時、飽きずに耳を傾けるお子さんが多かった。鈴木講師の説明もわかりやすく、魅力的だった。外来スジエビについては参加していた千葉県生物多様性センターの森さんが説明した。 ・ とれる魚種はさらに減少の一途。 ・ 当日確認した生き物/全 18 種。モツゴ、ツチフキ、ギンブナ、ゲンゴロウブナ、ヨシノボリ(またはクロダハゼ)、ヌマチチブ、タイリクバラタナゴ、メダカ、カラドジョウ、ヨコシマドンコ、テナガエビ、スジエビ、シナヌマエビ、スジエビに似たエビ (Palaemonetes sinensis)、アメリカザリガニ、ウシガエル幼生、アマガエル、イトトンボ幼生(ヤゴ)。その他、水路脇の穴でカメの卵も確認した。 |

| | | | |
|---|---|--|--------------------------|
| 企画名 | 手賀沼をもっときれいに！－せっけんいろいろ実験&体験－ | | |
| 実施団体 | 団体名 我孫子市石けん利用推進協議会 問合せ先 我孫子市消費生活センター TEL： 04-7185-1469 | | |
| 目的 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 我孫子市がせっけんの利用を推進していること、学校給食の食器洗いは、調理に使った天ぷら油をリサイクルして作ったせっけんを使用していることを伝える。 ・ なぜせっけんなのか、手賀沼の汚染とどのような関わりがあるのかを伝える。 ・ ハミガキ体験・DVD視聴・カイワレ実験によって、生き物への影響の違いを知ってもらう。 ・ 汚れを流さないこと、プリプリせっけんを作って汚れ落ちの良さを知ってもらう。 | | |
| 日時 | 2018年7月21日（土）1回目 13:00～14:30、2回目 15:15～16:45 | | |
| プログラム・概要・ルート等 | <ul style="list-style-type: none"> ・ せっけんの優れているところは？ ・ 合成洗剤に含まれている蛍光増白剤を見る。 ・ P R T R法で合成洗剤成分が指定されていること、家庭から排出されるのは合成洗剤が60%以上を占めることを伝える。 ・ ハミガキ体験で、せっけんと合成洗剤の違いを体験する。 ・ DVD鑑賞：ミドリゾウリムシへの合成洗剤の影響、まとめのDVD“私たちに何ができるのかな？”を見る。 ・ 手賀沼の生き物とせっけんの関わり、カイワレ実験 ・ 毎日どのようにお皿を洗っていますか？（よごれのふきとりで排水をきれいに） ・ プリプリせっけんを作って洗ってみよう。 | | |
| 参加対象 | 親子（5年生以上は単独参加可） | | |
| 参加人数 | 一般参加 60名（大人26名、小学生34名） 会員スタッフ 11名（協議会委員8名、市職員3名） | | |
| → よさについて知る。 |  |  | → 蛍光増白剤って？ |
|  | ← ふき取り実験 |  | ← 実験で、カイワレへの影響の違いを見る。 |
| 参加者や実施団体の感想 | 【参加者の感想】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 今まで全く気にせず使っていた合成洗剤が環境や自分自身に大きな悪影響を及ぼしていると知りました。自分や子供の健康のためにも、これからは石けんを積極的に使いたいと思いました。 ・ 環境問題に向き合い考える良い機会になった。 ・ 友達にも石けんを進めようと思った。実験も楽しかったし、すごいびっくりした。 | | |

| | |
|---------------|--|
| 企画名 | カブトムシを探そう、クワガタを探そう |
| 実施団体 | 団体名 船戸の森の会 問合せ先 七尾 忠 TEL : 04-7184-5866 Email : nanao@k2.dion.ne.jp |
| 目的 | 船戸の森を通して、地域の子どもと大人と一緒に、カブトムシ・クワガタを探すことで、自然を大事にすることと、生命の尊さを実感するとともに、家族のコミュニケーションを深める。 |
| 日時 | 2018年7月29日(日) 10:00~12:00 船戸の森 |
| プログラム・概要・ルート等 | ① 船戸の森の自然観察とカブトムシ・クワガタ探しをする。 ② カブトムシ・クワガタに関するクイズにより、知識を習得する。 ③ 参加者全員に、会員飼育の我孫子産クワガタ、カブトムシをプレゼントする。 |
| 参加対象 | 地域の子どもと大人 |
| 参加人数 | 一般参加 55名 (大人 25名、幼児 8名、小学 22名) 会員スタッフ 14名 (会員 14名) 合計 69名 |



台風にも負けずたくさんの人達があつまりました

| | |
|-------------|--|
| 参加者や実施団体の感想 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 受付初日の午前中には、定員に達するほどの大人気で、一般参加者 55 名と大盛況でした。 ・ 当日は、台風 12 号が襲来し関東に上陸するという心配がありましたが、進路がそれで、晴天の中無事に終了できました。 ・ 森で捕まえたのは、「カブトムシ 3 匹とチョウ」「チョウのみ」それぞれ 1 組でした。 ・ 今年は、命に係わるほどの猛暑が連続し、苦勞して育てたカブトムシが次々に死亡し必要数を当日までに準備することができませんでしたが、その分のクワガタが確保でき、子供たちに喜んでもらうことができました。普段手に入らないクワガタを思いがけず手にして、大人も子どもも大喜びでした。 |
|-------------|--|

| | |
|---------------|---|
| 企画名 | 手賀沼トラスト創立 20 周年記念 冬水田んぼで稲刈りをしよう |
| 実施団体 | 団体名 NPO 法人手賀沼トラスト 問合せ先 富澤 崇 (事務局) TEL: 090-2234-5610 Email: info@teganuma-trust.jp ホームページ: http://teganuma-trust.jp |
| 目的 | 生態系保全型の冬水田んぼで、田植え・かかし作り・稲刈りを体験してもらった連続企画の第3弾。今年は創立20周年記念イベントです。 みんなで田植えをし、かかしに守ってもらったお米を収穫します。 |
| 日時 | 2018年9月8日(土) 8:30~12:00 |
| プログラム・概要・ルート等 | 一般参加者は黒米を、手賀沼トラストの会員はもち米・うるち米を刈り取りました。稲刈りを終えた子供たちは、虫捕り大会に参加。15分間でどれだけ捕れるか、競いました。イナゴ・カマキリ・コオロギ・バッタ、たくさん捕りました。1位から順にお菓子の賞品。参加賞もあり、全員お菓子をもらえました。 中央学院から大学生が2名参加してくれました。 かき氷が大人気。何杯もお代わりをした子供もいました。氷が足りなくなり、追加購入しました。 |
| 参加対象 | 一般市民、小学生以下は保護者同伴 |
| 参加人数 | 一般参加 64名 (大人 34名、幼児 12名、小学 18名) スタッフ 20名、会員 62名 計 144名 |



パパ、ママと初めての稲刈り



天気がよくて気持ち良い稲刈り



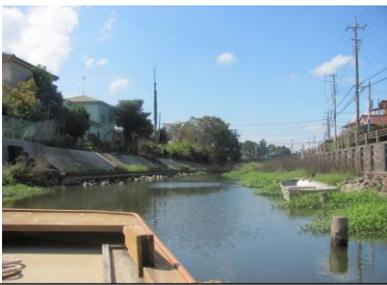
虫捕り大会の一コマ



カカシのそばでも虫捕り!

| | |
|-------------|---|
| 参加者や実施団体の感想 | 創立20周年記念イベントということで、総勢146名という過去最大の規模で稲刈りができました。 暑い日で、かき氷がとぶように配られました。 子供たちも熱心に稲刈りをしました。でも、一番楽しそうだったのは、やはり「虫捕り」だそうです。 |
|-------------|---|

| | |
|---|---|
| 企画名 | 手賀沼親子体験ヨット乗船会（我孫子） |
| 実施団体 | <p>団体名 NPO 法人 アルバトロスヨットクラブ</p> <p>問合せ先 森 康行 TEL： 04-7187-2499 Email： mori.yasuyuki@purple.plala.or.jp ホームページ： http://aycabiko.web.fc2.com/</p> |
| 目的 | セーリングを体験しながら手賀沼に親しむ機会を提供する。 セーリングを通して初歩の帆走技術を習得する |
| 日時 | 2018年9月22日（土）9:30～16:30 |
| プログラム・概要・ルート等 | <p>事前準備 AD搬入（柏市管理2艇を陸路搬入、我孫子市管理2艇をみずすまし号で搬入）</p> <p>8:00 運営スタッフ漁協棧橋前集合、役割分担について説明</p> <p>8:45 役割分担に基づき、各自準備</p> <p>9:00 AD4艇、シカーラ2艇艀装準備</p> <p>9:00 午前の部受付開始 15分の待ち時間の間、運営スタッフがライフジャケットの装着指導</p> <p>9:30 体験乗船開始 参加者の乗船時間…15分</p> <p>15:30 午後の部も午前と同様のサイクルを繰り返し終了</p> <p>15:45 艇の艀装解除、装備品の整理</p> <p>16:30 我孫子市管理ADみずすまし号に載せて運搬、柏市管理AD 柏体育館へ陸路返却</p> |
| 参加対象 | 市内居住の小学生・中学生・保護者 |
| 参加人数 | 一般参加 100名（小学生 58名、幼児 17名、大人 25名）、運営スタッフ 16名 |
|     | |
| 参加者や実施団体の感想 | <p>① 息子の乗る前は怖がっていましたが、すぐになれ、喜んでいました。</p> <p>② 祖父と息子にとって、とてもよい経験になりました。</p> <p>③ とても貴重な経験になりました。 ④ 皆さんとても優しく、楽しかったです。</p> |

| | | |
|---|---|---|
| <p>企画名</p> | <p style="text-align: center;">川めぐりと木下の史跡散歩</p> | |
| <p>実施団体</p> | <p>団体名 我孫子の文化を守る会 問合せ先 齊藤清一 TEL： 04-7183-9815 ホームページ： http://abikonobunka.sakura.ne.jp/</p> | |
| <p>目的</p> | <p>船からの視察と史跡巡りで、多賀沼の現況を知り手賀沼環境保全を考える機会とする。</p> | |
| <p>日時</p> | <p>2018年10月10日（水）12：00～15：30 集合：印西中央公民館（11：45）</p> | |
| <p>プログラム・概要・ルート等</p> | <p>印西中央公民館にて参加者に本日の目的を説明。 【川めぐり】 渡船場から1艘11名ずつ2艘の屋形船に乗船、印西観光協会の説明で出航。 ルート： 弁天川 ⇒ 手賀川 ⇒ 下手賀川 ⇒ 手賀川 ⇒ 六軒川めぐり 約60分 【木下の史跡散策】 印西ふるさと案内人協会の協力により、海に埋もれていた12～13万年前の貝化石を多量に含んだ貝層（木下貝層）の説明を受ける。 ルート： 中央公民館前道標 ⇒ 手賀沼排水機場 ⇒ 上町観音堂（堂内の厨子には銅造十一面観音立像安置）⇒ 木下貝層と木下万葉公園 ⇒ 印西市立木下交流の杜歴史資料センター ⇒ 木下交流の杜広場 ⇒ 木下駅解散 約150分</p> | |
| <p>参加対象</p> | <p>我孫子市民</p> | |
| <p>参加人数</p> | <p>一般参加 17名（大人17名） 会員スタッフ 5名</p> | |
|  |  |  |
| <p>晴天に恵まれての出航です。</p> | <p>手賀沼の外来植物を学びました。</p> | <p>木下貝層は貝塚ではないのです。</p> |
|  |  |  |
| <p>心地よい風を受けながら、美味しいお弁当を頂きました。</p> | <p>手賀排水機場の6機のポンプが水害から守ります。</p> | <p>交流の杜広場から利根川を望み、いこしえの木下を偲びました。</p> |
| <p>参加者や実施団体の感想</p> | <p>【参加者の感想】 ユーモアがある名調子のガイドで良かった、地域の歴史・文化が良く分かった。弁当付き説明付きで割安感がある良い企画で、時間的にも無理なく行動できた。通り過ぎてしまうような街にもそれぞれ歴史があり、見所があると思いました。 【スタッフの感想】 素晴らしい秋晴れの日、手賀沼が地元の産業や文化、人々の生活に大きな影響を及ぼしたことを学び、あらためて手賀沼の自然環境の大切さを多くの参加者が感じられたと思います。</p> | |

| | |
|---------------|--|
| 企画名 | 手賀沼賞 エコ・こども教室 |
| 実施団体 | <p>団体名 我孫子市環境レンジャー</p> <p>問合せ先 間野 吉幸 TEL : 080-3410-8119 Email : mano@sonata.plala.or.jp</p> |
| 目的 | 我孫子市の小・中学校の生徒を対象に教育委員会学校指導課主催の「科学作品展」の中から選ばれた「手賀沼賞」受賞作品を取り扱った公開教室の企画。子ども達に発表機会を設けると共に、多くの人達に作品の成果を広める。 |
| 日時 | 2018年10月21日(日) 9:30~15:00 アビスタ第1学習室&ストリート |
| プログラム・概要・ルート等 | <p>【口頭発表大会】アビスタ第1学習室 9:30~12:00</p> <p>①我孫子市小・中学校夏休み科学作品展受賞17作品の中から、発表5作品を選び、その研究成果をプロジェクターで発表した。</p> <p>②発表内容についてコメンテーターが講評した。</p> <p>③発表者には表彰状(A3版)、発表作品概要(A1版)、図書カードを授与した。</p> <p>【エコクイズ大会】アビスタストリート 9:30~15:00</p> <p>①発表作品をアビスタストリートに展示し作品内容を題材にしたクイズを実施した。スタッフがクイズ解答へのアドバイスを実施した。</p> <p>②クイズ参加者全員にパウチした名刺大の特製野鳥カードをプレゼントした。子ども達は野鳥カード欲しさに積極的に親と一緒にクイズに参加した。</p> |
| 参加対象 | 子どもと保護者 |
| 参加人数 | 参加者 461名(発表会 43名、クイズ大会 418名) スタッフ 15名 合計 476名 |
| | |
| 参加者や実施団体の感想 | <p>①夫々のテーマを持った研究内容と立派な発表内容に聴衆者は圧倒されました。</p> <p>②参加した子ども・保護者は、クイズを通して受賞作品の内容を理解しました。</p> <p>③「手賀沼賞 エコ・こども教室」は今回で11回目を迎えることができました。発表者本人、保護者、学校の全面的な協力が得られたことに感謝します。特に発表者が事前の準備に努力されたことに頭が下がりました。</p> |

| | |
|---|--|
| 企画名 | 森をきれいにしよう、みんなでサツマイモほりしよう |
| 実施団体 | 団体名 船戸の森の会 問合せ先 玉田千代子 TEL： 04-7182-2018 |
| 目的 | 船戸の森を通して、地域の子供と大人と一緒に、自然に親しみ、自然を大事にすることを体験するとともに、家族のコミュニケーションを深める。 |
| 日時 | 2018年10月21日（日）10：00～12：00 場所 船戸の森、手賀沼ファーム |
| プログラム・概要・ルート等 | ①船戸の森の自然観察と森の整備(枯れ枝集め、枯れ枝の整理) ②枯れ枝をリヤカーに積んで手賀沼ファームまでみんなで運ぶ。 ③みんなで並んでサツマイモほりをする。 ④焚き火を囲んで、食パンを焼いて食べる。 |
| 参加対象 | 地域の子どもと大人 |
| 参加人数 | 一般参加 54名（大人26名、子ども28名） 会員スタッフ11名 合計65名 |
| <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>素晴らしい天気めぐまれ 大勢の人が参加しました</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>台風後のたくさんの枯れ枝を いっぱい整理しました</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div style="text-align: center;">  <p>どのいもを選ぶかな!!</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>みんなでサツマイモ掘り たのしいなあ</p> </div> </div> | |
| 参加者や実施団体の感想 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 昨年は、雨で中止になり残念でしたが、今年は、よい天気、子どもたちも大はしゃぎで、家族みんなで楽しい一日を過ごすことができました。土の香りを思うぞんぶん味わい、貴重な体験でした。 ・ 台風後の森は、枯れ枝で荒れていましたが、子供たちのがんばりできれいになりました。継続して参加する人も増え来年もぜひ参加したいとの申し出に大いに励みになりました。 |

| | |
|--|---|
| <p>企画名</p> | <p style="text-align: center;">手賀沼親子ふれあい探鳥会 ～親子で手賀沼周辺の山野の鳥と水辺の鳥を楽しもう～</p> |
| <p>実施団体</p> | <p>団体名 我孫子野鳥を守る会 問合せ先 間野 吉幸 TEL: 080-3410-8119 Email: mano@sonata.plala.or.jp ホームページ: http://abikoyacho.org/</p> |
| <p>目的</p> | <p>◆探鳥の楽しさを知って貰う。 ◆野鳥観察を通し、自然に親しみ、自然を知る。</p> |
| <p>日時</p> | <p>2018年12月1日(土) 9:30～12:30 手賀の丘公園～手賀沼</p> |
| <p>プログラム・概要・ルート等</p> | <p>①手賀の丘公園と手賀沼南岸の探鳥好適地で、スコープや双眼鏡で野鳥を観察する。 ②ベテランの我孫子野鳥を守る会の会員が野鳥を見つけ、スコープで身近に野鳥の姿を観察して貰う。スコープで見る野鳥の素晴らしさを堪能して貰う。 ③その上で観察した野鳥の特徴を踏まえ識別の仕方を説明。 ④野鳥は出現する場所によって野鳥の種類が異なる理由などを説明。 ⑤野鳥観察を通して、楽しみながら私たちの住んでいる自然環境を観察する目を養う。 ⑥最後に観察した野鳥の記録をする。ビンゴ賞として野鳥カード・野鳥塗り絵プレゼント。</p> |
| <p>参加対象</p> | <p>子どもと保護者を含め何方でも</p> |
| <p>参加人数</p> | <p>一般参加 30名(大人22名、幼児2名、小学6名) スタッフ5名(会員5名)、合計 35名</p> |
| <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>山野の野鳥を探しています。</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>田圃ではタヒバリ・ハクセキレイなど観察しました</p> </div> </div> | |
| <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>手賀沼では珍しいオシドリ(♀)やミミカイツブリなど多くの水鳥を観察しました。</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>プレゼントの野鳥カードを選んでいます。</p> </div> </div> | |
| <p>参加者や実施団体の感想</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・当日は風もなく好天に恵まれた絶好の探鳥日和で、山野の鳥 29種と水辺の鳥 20種、合計 49種の鳥を観察しました。オシドリやミミカイツブリなど手賀沼では珍しい野鳥が観察出来ました。 ・子供も大人も皆さん探鳥が楽しかったとの声を頂きました。身近な所に色々な野鳥がいることに驚かれ、身近な手賀沼周辺の素晴らしさを認識されたようでした。 ・野鳥ビンゴの結果に応じた当会特製の「野鳥カード」や「塗り絵セット」のプレゼントは今年も好評で、子供も大人も喜んでいました。 ・市の公報からの応募者がゼロでした。参加者募集の工夫が必要と感じました。 |